

## AUTOMOTIVE SAFETY WEEK 2012 について

平成24年5月22日～24日の間、マラッカ（マレーシア）において開催された標記会合について、以下のとおり報告します。

### 1. AUTOMOTIVE SAFETY WEEK セッション（22日、23日）

車両安全等に係るトピックに関して、主に現地自動車・部品メーカーを対象とする各種セッションが行われた。主なトピック及びその概要は以下のとおり。

- ・ Automotive Safety セッションの中で、Latin NCAP（南米地域における車両安全性の向上）、ANCAP（ANCAPにおける安全性能総合評価）及びEuro NCAP（これまでの安全性評価の流れ等）からそれぞれ説明があった。
- ・ ANCAP（Precautions on Crash Testing for EV cars）：電気自動車の衝突（試験）時における注意事項（2010年にJNCAP/ANCAP合同で実施した電気自動車の試験をもとにしている。）
- ・ IDIADA（スペイン）（New Trends on the Evaluation of Active Safety within Euro NCAP）：欧州における予防安全技術の評価の現状
- ・ サウスオーストラリア州政府（South Australia's New Road Safety Strategy to 2020: Towards Zero Together）：同所における道路交通安全マネジメントの現状



### 2. 世界 NCAP 会議（23日）

第1部では「Consumers and Cars - Creating a Market for Safety」として、米（Claybrook 元 NHTSA 長官）、欧（Euro NCAP 事務局長（代理））、マレーシア（MIROS）等から、安全情報としての NCAP の歴史やその効果等についての基調講演があった。

第2部では「A World Tour of NCAPs」として、各 NCAP 実施機関における現状につい



ての報告があった。日本からは、NASVA 山崎企画部長より、日本の事故実態、JNCAP の概要及び試験項目の推移、これまでの事故低減効果等について発表を行った。

この他、同会議終了後に Global NCAP (GNCAP) 関係者による Closed Meeting があり、Global NCAP のメンバーステータス、今後の NCAP 実施機関間の協力の可能性、Global NCAP としての活動の方向性等について、フリーディスカッションがなされている。この中で、ANCAP より、今年 9 月、日本にて ANCAP の衝突試験を実施予定であり、その際にあわせて、各 NCAP の技術関係者間の会議を開催したいとの提案がなされた。また、次回会合を ESV 国際会議にあわせて、来年 5 月にソウルにて行うことが合意された。

なお、同日には Global NCAP 評議員会が開催され、組織体（英国内での慈善組織）としての Global NCAP の運営方針、予算等について議論・承認されている。（JNCAP メンバーは評議員ではないものの、特別にオブザーバーとして参加した。）

### 3. UN Decade of Action セミナー

国連で進めている「交通安全のための行動の 10 年」(2011~2020 年)の普及に向けたセミナー。2020 年に推定されている全世界の交通事故死者数(年間 190 万人)を半減させることを目標に、ドライバー教育の充実、安全な道路及び車の普及、国際協力の推進といった観点から計画が進められている。セミナーでは、それぞれの立場における同計画への取り組みについて発表が行われた。主な発表者及び概要は以下のとおり。

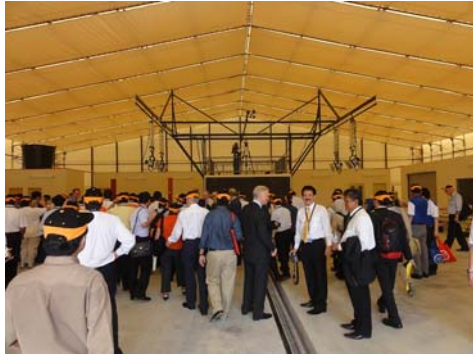


- ・ FIA (GNCAP を含む各種活動)
- ・ NHTSA (WP29 における基準調和活動)
- ・ BHP Billiton (豪の鉱業メーカー) (自社として、NCAP 5 ☆の車両のみを購入するとの方針を説明)
- ・ ボッシュ (ABS 及び ESC の効果及び各国における普及状況)
- ・ BMW (自動車技術面における安全性向上の取組み)
- ・ スウェーデン運輸省 (スウェーデンがすすめている Zero Vision について説明)

### 4. ASEAN NCAP 試験

MIROS(マレーシアの試験機関)において、ASEAN NCAP として初の衝突試験を公開した。また、これにあわせて、衝突試験施設の開所式を実施した。

なお、JNCAP では、5 月 10~11 日に NASVA 及び JARI より職員を派遣し、試験手順等の事前指導を行っている。



## 5. その他

会議の中で、GNCAP Annual Award として、NHTSA（NCAP 制度を通じた消費者への安全情報提供への貢献）、Claybrook 女史（NCAP 導入等に係る貢献）及びボッシュ（ESC、ABS 等の開発を通じた安全性向上）に対する表彰があった。

また、会議初日にはマラッカ州知事、GNCAP 会議には英国マイケル・オブ・ケント王子がスピーチを行うなど、会議に対する MIROS 及び GNCAP 両機関の意気込みが感じられた。

このほか、会議開催期間中、ESC、AEB 及び二輪車 ABS のデモンストレーションが行われている。